

氏名 関 勝 (人間総合・専門基礎担当)

## 1 著書

- 1) 関 勝. パーキンソン病実践診療マニュアル. 中外医学社, 東京、2016
- 2) 関 勝. リハビリテーション医学テキスト (改訂第4版). 南江堂, 東京、2016

## 2 学術論文

- 1) 関 勝. 第14回専門医・第25回認定臨床医試験問題および解答. (公益社団法人日本リハビリテーション医学会・試験委員会編) The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 2016
- 2) 関 勝. 高齢者によくみられる疾患・障がいとそれに対するリハビリテーション. Geriatric Medicine, 55:625-632, 2017

## 3 その他の著作

- 1) 関 勝. 巻頭言. 総合リハビリテーション、医学書院、東京、2016
- 2) 関 勝. 第80回神奈川リハビリテーション研究会報告. 総合リハビリテーション、医学書院、東京、2016

## 4 学会等での活動

- 1) 日本リハビリテーション医学会 2016年度代議員総会, 京都および東京
- 2) 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会・「痙縮セッション」・座長, 京都
- 3) 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会 (京都) 演題査読委員 (2016)
- 4) 日本リハビリテーション医学会・試験委員会, 東京
- 5) 第17回三浦半島リウマチトータルケア懇話会・世話人会 (2016), 神奈川
- 6) 第18回三浦半島リウマチトータルケア懇話会・世話人会 (2017), 神奈川
- 7) 第28回三浦半島リウマチ懇話会・世話人会 (2016), 神奈川
- 8) 第81回神奈川リハビリテーション研究会・幹事会 (2016), 神奈川
- 9) 第82回神奈川リハビリテーション研究会・幹事会 (2017), 神奈川

## 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 厚生労働省・理学療法士作業療法士国家試験委員会・幹事委員
- 2) 厚生労働省 (公益財団法人柔道整復研修試験財団) 国家試験委員会委員
- 3) 横須賀市介護保険認定審査会委員・合議体長
- 4) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・代議員
- 5) 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会・演題査読委員
- 6) 第2回患者家族メンタル支援学会学術総会・運営委員 (2016)
- 7) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・学術部委員
- 8) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・試験委員会委員
- 9) Progress in Rehabilitation Medicine Editorial Reviewer
- 10) ICME (institute of complex medical engineering) councilor

- 11) Disability Rehabilitation: Journal Editorial Reviewer
- 12) JJCRS: Editorial Board
- 13) 慶應医学会オフィシャルメンバー
- 14) 日本リハビリテーション医学会・リハ基礎医学 SIG メンバー
- 15) 日本リハビリテーション医学会・脊髄障害 SIG メンバー
- 16) 神奈川リハビリテーション研究会・幹事

## 6 学内教育活動

- 1) 2016 年度神奈川県立保健福祉大学オリエンテーション実施
- 2) 2016 年度教員選考面接担当
- 3) 2016 年度入学試験各業務・入試関連会議委員
- 4) 2016 年度入学式・卒業式・全学謝恩会
- 5) 2016 年度全担当科目講義視聴覚教材製作
  - (全体) ヒューマンサービス論 I
    - ヒューマンサービス総合演習 (事例検討ファシリテーター、発表会総評)
  - (看護) 疾病と治療 I
    - 疾病と治療 II
    - 疾病と治療 III
  - (社福) リハビリテーション論
    - 人体の構造と機能および疾病
  - (リハ) リハビリテーション概論
    - リハビリテーション医学
      - 神経内科学
      - 整形外科学 I
      - 整形外科学 II

## 7 学内各種委員会活動

- 1) 総務企画委員会委員 (自己評価委員会専門部会委員兼務)
- 2) 学科長会議委員
- 3) 学長補佐会議委員
- 4) 専任教授会・教授会構成員
- 5) カリキュラム委員会委員
- 6) 地方独立行政法人化に関する検討会議委員
- 7) COI 委員会委員
- 8) 大学院博士課程設置対策会議
- 9) 実践教育センター教育ビジョン WG 委員
- 10) 学科長等審査委員会委員
- 11) 教員任期委員会委員
- 12) 教員選考委員会委員長および委員
- 13) 教員昇任審査委員会委員

- 14) 人総学外招聘非常勤講師選考
- 15) 人総学科内専任教授会議長
- 16) 人総学科会議議長
- 17) 人総学科内各 WG 委員長
- 18) 人総親睦会 (E 会) 監査
- 19) 入試関連会議委員

## 8 社会貢献

- 1) 慶應義塾大学・大学院健康マネジメント研究科非常勤講師(リハビリテーション医学)
- 2) 日本リハビリテーション医学会代議員
- 3) 日本リハビリテーション医学会・学術部委員
- 4) 日本リハビリテーション医学会・試験委員会委員
- 5) 地域リハビリテーション連絡会世話人
- 6) 三浦半島リウマチ懇話会理事
- 7) 三浦半島リウマチトータルケア懇話会世話人
- 8) 横浜 YMCA 学院非常勤講師 (リハビリテーション医学)
- 9) 日本医療科学大学非常勤講師 (リハビリテーション医学)
- 10) 日本福祉教育専門学校・言語聴覚療法学科非常勤講師 (リハビリテーション医学)

## 9 講演, 放送

- 1) パネルディスカッション「暮らしの中の保健福祉」, 第 13 回ヒューマンサービス公開講座春期, 2016, 神奈川
- 2) 「気ままにエイジングライフ学～若いみんなも一緒に」, 第 13 回ヒューマンサービス公開講座春期, 2016, 神奈川
- 3) 高大連携事業・「科学と文化」サイエンスワークショップ講師, 2016, 柏陽高校
- 4) 高大連携事業・「大学模擬授業」ワークショップ講師, 2016, 新城高校

## 13 特許など

- 1) 日本臨床神経生理学会認定医更新 (筋電図・神経伝導分野)
- 2) 日本臨床神経生理学会認定技術師更新 (筋電図・神経伝導分野)
- 3) 日本体育協会公認スポーツドクター更新

**氏名 岩崎俊晴 (大学院研究科兼務)**

## 1 著書

- 1)
- 2)

## 2 学術論文

- 1) Ariyani W\*, Iwasaki T\*, Miyazaki W\*, Khongorzul E, Nakajima T, Kameo S, Koyama H, Tsushima Y, Koibuchi N. Effects of Gadolinium-Based Contrast Agents on Thyroid Hormone Receptor Action and Thyroid Hormone-Induced Cerebellar Purkinje Cell Morphogenesis. *Front Endocrinol (Lausanne)*. 2016; 7:115.

doi: 10.3389/fendo.2016.00115.

\*: co-first authors

- 2) Lesmana R, Iwasaki T<sup>#</sup>, Iizuka Y, Amano I, Shimokawa N, Koibuchi N. The change in thyroid hormone signaling by altered training intensity in male rat skeletal muscle. *Endocr J*. 2016; 63:727-38. doi: 10.1507/endocrj.EJ16-0126.

<sup>#</sup>: corresponding author

- 3) Amano I, Takatsuru Y, Toya S, Haijima A, Iwasaki T, Grasberger H, Refetoff S, Koibuchi N. Aberrant Cerebellar Development in Mice Lacking Dual Oxidase Maturation Factors. *Thyroid*. 2016; 26:741-52. doi: 10.1089/thy.2015.0034.

## 3 その他の著作

- 1)
- 2)

## 4 学会等での活動

- 1) 第4回 Bandung International Biomolecular Medicine Conference (BIBMC) 2016 及び同時開催の第2回 ASEAN Congress on Medical Biotechnology and Molecular Biosciences (ACMM)において国際シンポジウム講演(招待講演)を行った。

Function of Thyroid Hormone Receptor in Developing Purkinje Cells

~ Study of Transgenic Mice Expressing Dominant-Negative TR in Cerebellar Purkinje Cells. Toshiharu Iwasaki

2016.10.6 Bandung, Indonesia The Trans Luxury Hotel

2) 第 59 回 日本甲状腺学会学術集会にて、演題選定委員及び、座長を務めた  
2016 年 11 月 3-5 日 東京・虎ノ門ヒルズフォーラム

3) 環境ホルモン学会第 19 回 研究発表会にて口頭発表  
2016 年 12 月 8-9 日 つくば・文部科学省 研究交流センター  
「甲状腺ホルモン受容体機能を活性化する環境化学物質の解析」  
岩崎俊晴<sup>1</sup>、原口瑞樹<sup>2</sup>、大澤 祥<sup>2</sup>、宮坂祐平<sup>2</sup>、鯉淵典之<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>神奈川県立保健福祉大学 保険福祉学部 人間総合・専門基礎、  
<sup>2</sup>群馬大学大学院 医学系研究科 応用生理学

4) 第 94 回 日本生理学会大会 にてポスター発表  
2017 年 3 月 28-30 日 浜松・アクトシティーコンgresセンター  
The inducing effect of an endocrine disrupting chemical on the thyroid hormone  
receptor-mediated functions.  
Toshiharu Iwasaki<sup>1</sup>, Mizuki Haraguchi<sup>2</sup>, Sho Osawa<sup>2</sup>, Yuhei Miyasaka<sup>2</sup>, Noriyuki Koibuchi<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>Department of Liberal Arts and Human Development, Kanagawa University of Human  
Services,  
<sup>2</sup>Department of Integrative Physiology, Gunma University Graduate School of Medicine

## 5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本内分泌学会 評議員
- 2) 日本生理学会 評議員
- 3) 日本甲状腺学会 評議員
- 4) 日本内科学会 認定医
- 5) 日本甲状腺学会 専門医
- 6) 日本生理学会 生理学エデュケーター

## 6 学内教育活動

- 1) 看護学科 疾病と治療 I
- 2) リハビリテーション学科 内科学 I
- 3) リハビリテーション学科 内科学 II
- 4) 社会福祉学科 人体の構造と機能及び疾病
- 5) 社会福祉学科 国家試験対策講義
- 6) 栄養学科 卒業研究 2 名
- 7) リハビリテーション学科 生理学実習 補助
- 8) 栄養学科 生体機能学実験 補助
- 9) 全学 1 年生 保険医療福祉論 (箱根病院)
- 10) 全学 1 年生 チューター

## 7 学内各種委員会活動

- 1) 学生委員会 副委員長
- 2) 大学院後期課程設置検討委員会
- 3) 学部長選 選挙管理委員会 副委員長

## 8 社会貢献

- 1) 非常勤講師 群馬大学大学院 医学系研究科
- 2) 非常勤講師 群馬大学医学部 応用生理学 講義
- 3) 国際交流 1. 本学にて、第 1 回 Padjadjaran 大学-神奈川県立保健福祉大学国際交流会を行った。2016 年 8 月 6 日
- 4) 国際交流 2. インドシア パジャジャラン大学にて、第 2 回 Padjadjaran 大学-神奈川県立保健福祉大学国際交流会を行った。2016 年 10 月 3-7 日
- 5)

## 9 講演, 放送

- 1) インドネシア バンドン市 パジャジャラン大学にて、薬学部及び医学部学生、及び院生向けに特別講演を行った (薬学部大講堂 参加者: 約 150 名)。
- 2)
- 3)

## 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 研究代表者 基盤研究 C  
「脳発達における甲状腺ホルモンの部位別役割と環境化学物質に対する新規試験法の開発」
- 2) 研究分担者 基盤研究 B (代表: 鯉淵典之)  
「低分子脂溶性ホルモンを介する脳の機能的発達調節に及ぼす環境因子の影響」
- 3)

## 11 学内研究助成金の受託

- 1) 研究代表者 協働研究 A 「パラリンピック選手の栄養管理に関する基礎研究」  
協働研究者: 鈴木志保子
- 2)
- 3)

## 12 受賞

- 1)
- 2)
- 3)

## 13 特許など

- 1)
- 2)
- 3)

## 14 その他

- 1) 推薦書執筆 1 通
- 2) 査読 3 件
- 3) 学内研究発表会にて発表を行った  
「甲状腺ホルモンの発達期及び成人期における作用について」
- 4) インドネシア・パジャジャラン大学において、新設の共同研究棟の施設、実験機器等の視察を行った。
- 5) 入学試験、大学入試センター試験 試験監督

## 氏名 金 龍哲 (大学院研究科兼務)

### 1 著書

- 1) 金龍哲編著『現代社会の人間形成』（改定版）三恵社、2016年。

### 2 学術論文

- 1) 金龍哲. “文化多様性”という思想—日中における受容と展開. 東アジア文化フォーラム. 日本語文化研究 2016 ; 4 : pp.62-75.
- 2) 金龍哲. 13 歳の成人式—母系社会で大人になるということ. 日本評論社. そだちの科学 2016 ; 4 : p p .74-78.

### 4 学会等での活動

- 1) 金龍哲. 「大学の“機能分化”の行方—大学と地域社会との関係性に注目して」中日教育研究協会（中日教育研究協会 2016 年度研究大会 2016 年 4 月 24 日）
- 2) 金龍哲. 「学校での“方言教育”は可能か—中国における方言の保護と伝承を巡る動向」日本比較教育学会第 52 回大会（大阪大学 2016 年 6 月 24 日）
- 3) 金龍哲. 「文字を持たない民族の挑戦—“普米双語班”の実践からみた文化伝承の新たな課題」アジア教育学会（こども教育宝仙大学 2016 年 10 月 30 日）

### 5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 中日教育研究協会 会長
- 2) 『中日教育論壇』編集委員

### 6 学内教育活動

- 1) 学部担当科目  
教育原論、現代教職論、ヒューマンサービス論Ⅰ・Ⅱ、ヒューマンサービス総合演習、教職総合演習、教職実践演習、中国語（応用）
- 2) 実践教育センター  
教育本質論（看護・介護教員養成コース）、教育原理（看護実習指導者養成教育コース）、教育原理（介護実習指導者養成教育コース）、ヒューマンサービス論
- 3) 大学院  
ヒューマンサービス特論

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 大学評議員
- 2) 総務・企画委員長
- 3) 実践教育センター運営委員
- 4) 教員免許更新講習会運営委員
- 5) 教員任期委員会委員長



- 6) COI 委員
- 7) 自己評価委員会委員
- 8) 地域貢献研究センター運営委員
- 9) MIS 専門部会委員

## 8 社会貢献

- 1) 教員免許更新講習会講師 (2008～)
- 2) かながわ国際交流財団「知恵の輪会」会員 (2011年～)
- 3) 首都大学東京非常勤講師

## 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費補助金 (基盤研究 C 2014-2017) 研究代表者  
「中国西南における少数民族文化の教育課程化に関する比較教育学的研究」
- 2) 科学研究費補助金 (挑戦的萌芽研究 2014-2015) 連携研究者  
「グローバル人材育成のための学び直し型プログラムの検討—国際比較の視点から—」(代表者 二宮皓)

## 14 その他

### 海外学術調査

- 1) 科研「中国西南における少数民族文化の教育課程化に関する比較教育学的研究」の一環として、貴州省榕江県、雲南省麗江、永寧郷、福建省福州市、厦門市における少数民族文化及び地域文化の教育課程化の現状について調査を実施 (2016年8月19日-9月10日)。
- 2) 科研 (挑戦的萌芽研究 2014-2015) 「グローバル人材育成のための学び直し型プログラムの検討—国際比較の視点から」の一環として、フィジーの USP (University of South Pacific)、FNU (Fiji National University) における学び直し型カリキュラムの現状について調査を実施 (2017年1月22日-27日)。
- 3) 中国沿海地域における高齢者介護施設の現状について、山東省威海市の威高天倫苑 (老人ホーム) を事例に調査を実施 (2017年3月19日-24日)。

## 氏名 津田 学

### 2 学術論文

- 1) Deficiency of succinyl-CoA synthetase  $\alpha$  subunit delays development, impairs locomotor activity and reduces survival under starvation in *Drosophila*. Quan X, Sato-Miyata Y, Tsuda M, Muramatsu K, Asano T, Takeo S, Aigaki T. *Biochem Biophys Res Commun*. 2017 Jan 29;483(1):566-571
- 2) Evolution of sex-peptide in *Drosophila*. Tsuda M, Aigaki T. *Fly (Austin)*. 2016 Oct;10(4):172-7.

### 6 学内教育活動

- 1) 生物学概論
- 2) 細胞生物学（栄養学科）
- 3) 細胞生物学（看護学科、リハビリテーション学科、社会福祉学科）
- 4) 生物学基礎実験（栄養学科）
- 5) 生物学基礎実験（看護学科、リハビリテーション学科、社会福祉学科）
- 6) 分子生物学
- 7) 文献検索とクリティーク
- 8) 免疫学
- 9) バイオテクノロジー基礎実験

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 教務委員会
- 2) カリキュラム委員会
- 3) 動物実験専門部会 部会長

### 8 社会貢献

- 1) 科学技術振興機構（JST）戦略的国際科学技術協力推進事業「日本ーブラジル研究交流」における「アマゾンフルーツのナノサプリ開発：老化と健康に及ぼす栄養ゲノミクスおよび栄養遺伝的影響」（代表：相垣）に参加

### 11 学内研究助成金の受託

- 1) 平成 28 年度研究助成事業研究助成 B（奨励研究）佐竹弘行，津田学「新規機能性を有する蛍光性人工核酸の開発に関する基礎的研究」（176,422 円）（2016 年 4 月～2017 年 3 月）

## 氏名 生田 倫子(大学院研究科兼務)

### 1 著書

- 1) 『心理臨床の交差点 2 短期力動療法・ユング派心理療法・スキーマ療法・ブリーフセラピー』 新曜社

### 2 学術論文

- 1)

### 3 その他の著作

- 1) 生田倫子(2015). 「David Schnarch 博士の紹介」, 家族心理学年報 34 号.

### 4 学会等での活動

- 1) Michiko Ikuta (2016) The development of a Mental Health Response to the Great Japan Earthquake. Research conference awards presentation and Lecture on the Integration of Faith& Professional Practice.
- 2)

### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 内閣府子ども若者・子育て施策総合推進室, 企画分析会議委員, 分析会議委員として, 青少年のインターネット利用環境の実態調査を行っている. 2009年4月~現在
- 2) 日本心理臨床学会, 広報誌編集委員, 広報編集委員として, 学会の広報業務を行っている. 2012年12月~現在
- 3) 日本心理臨床学会, 支援活動委員, 支援活動委員として, 震災復興支援に関する調査やプログラムの作成を行っている. 2013年12月~現在
- 4) 日本家族心理学会, 常任理事, 編集委員. 常任理事会に, 年7回出席し, 学会運営業務を行っている. 2007年6月~現在
- 5) The International Academy of Family Psychology, Secretary, Board. (国際家族心理学会, 事務局長, 常任理事.) 事務局長として, 学会の運営業務を行っている. 2011年8月~現在
- 6) 日本ブリーフセラピー協会, 常任理事. 常任理事会に, 年6回出席し, 学会運営業務を行っている. 2007年4月~現在

### 6 学内教育活動

#### 1) 学部

心理学, 発達心理学, 人間発達学, 教育心理学, ボランティア市民活動論, 文献検索とクリティーク, 養護教諭過程教職実践演習, 養護教諭過程総合演習, ヒューマンサ

- ービス総合演習，保健医療福祉論.
- 2) 大学院  
コンサルテーション論（博士課程前期）  
対人援助特論（博士課程後期）
  - 3) 実践教育センター  
認定看護管理者教育課程『人的資源活用論』  
教員・教育担当者養成課程（介護・看護）「教育心理」
  - 4) その他  
国際ボランティアサークル「アナーコット」顧問  
ボランティアサークル「スカイキッズ」顧問  
シアトルパシフィック大学との大学間交流による招聘
- 7 学内各種委員会活動
- 1) 入試委員会委員
  - 2) 国際協働専門部会委員
  - 3) 教員免許更新講習会運営委員
- 8 社会貢献
- 1) 神奈川県養護教員免許更新講習講師
  - 2) ヒューマンサービス研究会世話人
  - 3) 神奈川大学大学院非常勤講師『学校臨床心理学特論』
- 9 講演・放送
- 2016年5月15日 日本家族カウンセリング協会 記念シンポジウム講演 「カップルセラピーの変化、日本の変化、社会の変化」
- 2016年7月22日 東京都世田谷区教育委員会事務局 スクールカウンセラーブロック企画研修 「学校臨床における家族療法の取り入れ方」
- 2016年8月28日～29日 第三管区海上保安本部 ハラスメント防止講習会講師
- 2016年9月20日 第三管区海上保安本部 ハラスメント防止講習会講師
- 2016年10月31日 東京都杉並区教育委員会事務局 平成28年度第2回教育相談研修会講師  
「思春期の子どもとネットリテラシー ～ネットトラブルにどう対応していくか～」
- 2016年11月15日 特別区職員研修所 平成28年度専門研修「中堅保育士」講師
- 2017年1月19日 第三管区海上保安本部 ハラスメント防止講習会講師
- 2017年2月7日 座間市健康部健康づくり課 未熟児訪問事業研修会講師
- 10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託



## 氏名 木村 芳滋 (大学院研究科兼務)

### 4 学会等での活動

- 1) 日本マスマスペクトル学会評議員
- 2) 2016年 JASIS コンファレンス発表 「生体材料の表面分析に関する国際標準化 ～ TOF-SIMS のバイオ応用の現状～」(9月8日幕張メッセ)
- 3) 国際マスマスイメージングセンターミーティング発表 「Imaging mass spectrometry for model organism *C. elegans*」(10月6日浜松医科大学)

### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) ISO/TC201 WG4 (国際標準化機構・表面化学分析技術委員会・バイオ作業部会) 幹事

### 6 学内教育活動

- 1) 科目履修生受入「解剖学 I」
- 2) 保健医療福祉論 I 施設引率 神奈川県総合リハビリテーションセンター(8月9日)

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 地域貢献推進委員会委員長
- 2) 進路委員会委員
- 3) 大学院入試委員会委員
- 4) 入学者選抜作問審査委員

### 8 社会貢献

- 1) 第13回ヒューマンサービス公開講座(春) かながわ県民センター司会(6月12日)
- 2) 高校生向け大学説明会模擬授業 講師(7月16日)

### 9 講演, 放送

- 1) 中部大学講演 第34回 O-say Open Seminar 「質量分析イメージング法(IMS)を用いた線虫 *C.エレガンス* 生体分子の可視化」(7月25日)

### 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 木村芳滋 「質量分析イメージング法による線虫 *C.エレガンス* のシングルセルレベル脂質マッピング」科学研究費 基盤研究(C) 交付金額 総額 494 万円 (平成 28 年度: 169 万円), 2016～ 2018 年度.

### 11 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 B (奨励研究) 375,424 円 「チューブリン翻訳後修飾の制御による感覚繊毛の形態制御機構」

14 その他

1) 国際共同研究

「線虫 *C.エレガンス* の感覚繊毛で見られるチューブリングルタミン酸化の解析」

相手機関：ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン(アイルランド)

「線虫 *C.エレガンス* の感覚繊毛の細胞内輸送の研究」

相手機関：アブドゥラー・ギユル大学 (トルコ)

2) 国内共同研究

「線虫 *C.エレガンス* の環境応答における鞭毛内輸送の解析」

相手機関：九州大学

「高解像度質量分析イメージングによる線虫 *C.エレガンス* の細胞構造解析」

相手機関：アルバックファイ株式会社

「TOF-SIMS による線虫 *C.エレガンス* の細胞構造解析」

相手機関：成蹊大学

## 氏名 佐竹 弘行

### 4 学会等での活動

1) 佐竹弘行, 「スルホカリックスアレーンと水素結合部位を有する蛍光性リガンドを用いた生体関連分子の簡便な蛍光検出に関する検討」, 日本薬学会 第137年会(仙台), 2017年3月

### 6 学内教育活動

- 1) 化学概論 (全学科対象, 前期, 科目責任者)
- 2) 基礎有機化学① (栄養学科対象, 前期, 科目責任者)
- 3) 基礎有機化学② (栄養学科以外の学科対象, 前期, 科目責任者)
- 4) 基礎有機化学実験① (栄養学科対象, 前期, 科目責任者)
- 5) 基礎有機化学実験② (栄養学科以外の学科対象, 前期集中, 科目責任者)
- 6) 保健医療福祉論 I (全学科対象, 前期および前期集中, 現場訪問の事前および事後指導を担当)
- 7) 文献検索とクリティーク (社会福祉学科 (Aクラス) 対象, 後期, クリティーク部分を担当)
- 8) 英語 (保健医療福祉のための英語 II) ① (看護学科 (Aクラス) 対象, 後期, 科目責任者)
- 9) 英語 (保健医療福祉のための英語 II) ② (看護学科 (Bクラス) 対象, 後期, 科目責任者)
- 10) 英語 (保健医療福祉のための英語 II) ⑥ (リハビリテーション学科対象, 後期, 科目責任者)
- 11) 物理学 (全学科対象, 後期, 科目責任者)

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 人権倫理委員会 (2016年4月～2017年3月)
- 2) 研究委員会 (委員長, 神奈川県立保健福祉大学誌 (2017年第13巻第1号) の一部編集, 「神奈川県立保健福祉大学の教育研究活動における試薬の取扱いに関する規程」の制定およびこれに関する準備 (情報収集、素案の作成等)、 「神奈川県立保健福祉大学誌投稿要綱」の改正等) (2016年4月～2017年3月)
- 3) 時間割編成ワーキンググループ (2016年4月～2017年3月)

### 8 社会貢献

1) 「平成 27 年度県立保健福祉大学高大連携プログラム」として, 神奈川県立柏陽高等学校において, 1 年生を対象に DNA の一塩基多型等に関する 50 分間の講義を 2 回行った (2016年6月)



11 学内研究助成金の受託

- 1) 平成 28 年度研究助成事業研究助成 B (奨励研究) 佐竹弘行, 津田学「新規機能性を有する蛍光性人工核酸の開発に関する基礎的研究」(176,422 円)(2016 年 4 月～2017 年 3 月)

14 その他

- 1) 人間総合・専門基礎担当における E 会担当 (2016 年 4 月～2017 年 3 月)
- 2) 平成 28 年度神奈川県立保健福祉大学研究発表会における座長を担当 (2016 年 7 月)
- 3) 平成 28 年度オープンキャンパスにおける人間総合・専門基礎担当の紹介教室の担当 (2016 年 8 月)
- 4) 学内広報誌「hexagon」編集委員

## 氏名 松尾 祐子

### 3 その他の著作

- 1) 松尾祐子. 平成 28 年度「高齢者における健康維持増進のための総合的追跡研究」報告書. 2017 : 15-18
- 2) 松尾祐子、他. 臨床検査技師国家試験模擬試験問題. 医歯薬出版

### 6 学内教育活動

- 1) 体のしくみⅠ（看護学科 1 年 前期）
- 2) 生体機能学（栄養学科 1 年 後期）
- 3) 生理学Ⅱ（リハビリテーション学科 1 年 後期）
- 4) 文献検索とクリティーク（リハビリテーション学科 1 年 後期）
- 5) 生理学実習（リハビリテーション学科 2 年 前期）
- 6) 生体機能学実験（栄養学科 2 年 前期）
- 7) 心電図実習（看護学科 1 年 12 月 13 日、20 日）

### 7 学内各種委員会活動

- 1) FD 委員会（委員長）
- 2) 図書情報委員会（9 月～）

### 11 学内研究助成金の受託

- 1) 岩佐敏、松尾祐子、五味郁子. 「高齢者における疫学的健康調査」平成 28 年度神奈川県立保健福祉大学研究助成 A（協働研究）；70 千円
- 2) 岩佐敏、松尾祐子、五味郁子. 「高齢者における疫学的健康調査」平成 28 年度地域貢献研究センター研究助成；80 千円
- 3) 岩佐敏、松尾祐子. 「高齢者における疫学的健康調査」平成 28 年度人間総合学科研究費；199.62 千円